第33講　江戸幕府の滅亡

1　江戸幕府の動揺

①幕閣の分裂⇒外交政策と将軍継嗣問題（13代家定に子がないため）で対立。

A　**南紀派**

あ　外交政策

和親外交（開国論）

い　将軍継嗣

血統を重視し，**徳川慶福（紀伊藩主）**を推挙。

う　構成

井伊直弼（彦根藩主）ら門閥譜代・旗本や大奥。

☆幕府独裁体制の復活をめざす。

B　**一橋派**

あ　外交政策

強硬外交（攘夷論）から，のち和親外交（開国論）へと次第に傾く。

い　将軍継嗣

年長・英明・人望を重視し，**一橋慶喜（前水戸藩主徳川斉昭の子）**を推挙。

う　構成

徳川斉昭（前水戸藩主），徳川慶勝（尾張藩主），**松平慶永（越前藩主）**，**島津斉彬（薩摩藩主）**，**山内豊信〔容堂〕（土佐藩主）**，**伊達宗城（宇和島藩主）**ら**親藩・外様の有力大名**。

☆雄藩連合による幕政改革をめざす。

C　中間派

老中首座堀田正睦（佐倉藩主）

☆条約勅許を求めるが，孝明天皇や一橋派の反対により挫折し失脚。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②大老井伊直弼の独裁（1858年～60年）

A　**井伊直弼が大老に就任（1858年）**

あ　**日米修好通商条約を無勅許のまま調印〔違勅調印〕**

☆本来別個（べっこ）の思想であるはずの**尊王論**（そんのうろん）と**攘夷論**（じょういろん）が結びつく（＝**尊王攘夷論**（そんのうじょういろん））。

い　**14代将軍として徳川家茂**（いえもち）**〔慶福**（よしとみ）**〕を擁立**（ようりつ）

う　水戸藩への戊午（ぼご）の密勅（みっちょく）降下

☆違勅調印に憤激した**孝明天皇**が，幕府を越えて直接水戸藩に攘夷の密勅を降下。井伊直弼はこれに激怒，安政の大獄（たいごく）の契機となる。

B　**安政の大獄（1858年～59年，反井伊派の弾圧⇒**老中間部詮勝（まなべあきかつ）が主導）

あ　**一橋慶喜，徳川斉昭，**徳川慶勝，**松平慶永，山内豊信〔容堂〕らを処分。**

い　川路聖謨（としあきら），岩瀬忠震（ただなり）ら開明的な幕臣も処罰。

う　**橋本左内**（さない）**（越前藩士），吉田松陰**（しょういん）**（長州藩士），頼三樹三郎**（らいみきさぶろう）（儒学者，頼山陽（らいさんよう）の子）**らを処刑。**

☆**梅田雲浜**（うんぴん）（若狭小浜（おばま）藩士）も獄死。

C　**桜田門外の変**（さくらだもんがい）**（1860年３月３日）**

通商条約の違勅調印・将軍継嗣問題・安政の大獄に憤激した**尊攘派**（そんじょうは）**の水戸浪士らが，江戸城桜田門外で井伊直弼を殺害。**

☆**全国に衝撃，幕府の権威は失墜**（しっつい）**し独裁体制が崩壊。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③公武合体運動の展開（1860年～64年ごろ）

公武合体論＝朝廷（公家）と幕府（武家）の協調により，幕藩体制の再建・強化をはかろうとする思想。

A　**幕府主導の公武合体運動＝和宮降嫁（1861年）**

老中安藤信正・老中首座久世広周の公武合体策。

1861年　**皇女和宮（孝明天皇の妹），14代家茂への降嫁**が決定。

☆侍従岩倉具視ら公武合体派の公卿が孝明天皇を説得，中山道を江戸へ下り翌年結婚。

1862年　坂下門外の変

☆**和宮降嫁に憤激した尊攘派の志士が，江戸城坂下門外で安藤信正を襲撃**。負傷した安藤は失脚，**幕府主導の公武合体運動は挫折**。

B　**雄藩主導の公武合体運動＝文久の改革（1862年）**

島津久光（＝薩摩藩主島津忠義の父）**の公武合体策**。

あ　**鹿児島から上洛，孝明天皇から幕政改革の勅命を受ける**。

☆**寺田屋事件**で藩内尊攘派〔有馬新七ら〕を粛清。

い　勅使**大原重徳**を奉じて江戸に東下，**文久の改革**を実施。

・**将軍後見職⇒一橋慶喜**

・**政事総裁職⇒松平慶永（越前藩主）**

・**京都守護職⇒松平容保（会津藩主）**

☆**参勤交代制の緩和（３年１勤）と妻子人質制の廃止**，洋式兵制の採用，オランダへの留学生派遣（榎本武揚・西周・津田真道ら）などを実施。

う　**江戸からの帰途，横浜で生麦事件を起こす**。

☆翌年，薩英戦争へ発展。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④尊王攘夷運動の激化（1862年～63年）

尊王攘夷論＝天皇崇拝思想（**尊王論**）と，開国反対・外国人排斥の思想（**攘夷論**）が，井伊直弼の違勅調印を契機に**反幕運動**として結びついたもの。

☆薩摩・長州・土佐などの雄藩も，下級武士・“草莽の**志士**”たちによる尊攘運動を一面で抑制・一面で利用したことから複雑な政争が展開した。

A　**長州藩尊攘派の京都制圧　（1862年）**

藩主毛利敬親は，藩士長井雅楽の「航海遠略策」を容れ，開国策による公武合体推進の立場をとっていたが，**高杉晋作・桂小五郎〔木戸孝允〕・久坂玄瑞らの尊攘派が台頭し，藩論を転換**した。

☆島津久光（薩摩藩）が文久の改革のため江戸に下る間に，尊攘派の公卿**三条実美**や，土佐藩の武市瑞山〔半平太〕と結び，公武合体派を抑え朝廷を動かした。

⇒京都ではいわゆる“天誅”事件が相次ぐ。

B　勅使三条実美，江戸に東下（1862年）

公武合体派（薩摩藩主導）の勅使大原重徳に続き，尊王攘夷派（長州藩主導）として，**幕府に攘夷の決行を迫る。**

C　**14代家茂の上洛**　　　　　（1863年３月）

３代家光以来の将軍上洛。**不本意にも５月10日の攘夷決行を孝明天皇に確約。**

D　**長州藩外国船砲撃事件〔下関事件〕（1863年５月）**

長州藩は５月10日以降，関門海峡を通過する米・仏・蘭船に対し**単独で攘夷を決行**。米・仏は即座に艦隊を派遣して報復。

☆藩兵の軍事力の低さに失望した**高杉晋作**は，志願制の**奇兵隊**など農商民を加えた諸隊の組織を決意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤攘夷運動の挫折

A　**薩英戦争**　　　　　（1863年）

前年の**生麦事件の報復**のため，**イギリス艦隊が鹿児島に来航**して交戦。双方ともに被害を受け講和。**薩摩藩は**軍備近代化の必要性と**攘夷の無謀を痛感。**

☆イギリスも薩摩藩の実力を評価，両者接近の契機となる。

B　**八月十八日の政変（1863年）**

天皇＋公武合体派（公武合体派公卿と結ぶ幕府・薩摩藩・会津藩）の巻き返し。

☆過激な攘夷は天皇の本意ではないことを強調し，**長州藩の御所警備を解任**。三条実美・沢宣嘉らの**尊攘派公卿は長州藩に逃れる（＝七卿落ち）。**

☆孝明天皇による攘夷祈願の大和行幸計画も中止となる。

C　**天誅組の変**　　　　　（1863年）

尊攘派公卿の中山忠光・**吉村寅太郎（土佐浪士）**らが大和国五條の代官所を襲撃。

D　**生野の変**　　　　　（1863年）

尊攘派公卿の沢宣嘉・**平野国臣（福岡浪士）**らが但馬国生野の代官所を襲撃。

E　**天狗党の乱**　　　　　（1864年）

水戸藩尊攘派の藤田小四郎（東湖の子）・武田耕雲斎らが筑波山で挙兵。攘夷延期を不服とし上洛をめざすが，追討軍に追われ加賀藩に降伏。

F　**池田屋事件**　　　　　（1864年）

巻き返しをはかり**京都**に集合した尊攘派の志士を，京都守護職（会津藩主松平容保）配下の**新撰組（近藤勇**・土方歳三ら）が襲撃。

G　**禁門〔蛤御門〕の変（1864年）**

池田屋事件を契機に京都に攻め上った長州藩は，御所内外の戦いで幕府方〔薩摩藩・会津藩・桑名藩〕に敗れたうえ，**朝敵の汚名を着せられた。**

☆**真木和泉（久留米藩士），久坂玄瑞（長州藩士）らは自刃**。京都は戦火に包まれる。

H　**四国艦隊下関砲撃事件〔下関戦争〕（1864年）**

前年５月10日の外国船砲撃事件の報復として，**イギリス公使オールコックが主導**する**英・米・仏・蘭**の四国連合艦隊が下関を砲撃。

☆長州藩も攘夷の無謀を痛感，イギリスとの接近の契機となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅰ　**第一次長州征討〔第一次幕長戦争〕**（**1864年**，征長総督＝前尾張藩主徳川慶勝）

幕府が禁門の変を理由に長州征討の勅命を受けて出兵。**下関戦争の結果，保守派が復権した長州藩は尊攘派を弾圧，戦わずして幕府に恭順の態度を表した。**

☆翌年土佐藩でも尊攘派の武市瑞山らを弾圧，**攘夷運動は完全に挫折**した。

2　江戸幕府の滅亡

①列強の動き

A　**英・仏の対立**

あ　**イギリス**

オールコックのあとを引き継いだ**公使パークスが薩摩藩・長州藩に接近**。天皇を中心とする大名連合政権の実現を期待。

い　**フランス**

公使ロッシュが幕府に接近，経済的・軍事的援助を行う。

B　**条約勅許（1865年）**

英・米・仏・蘭の四国が共同で兵庫沖に艦隊を派遣し威嚇（いかく）。しかし，**兵庫開港は未（いま）だ認めず。**

☆孝明天皇の条約勅許により，攘夷論は公的には全滅した。

C　**改税約書（1866年）**⇒イギリス公使パークスが起草

下関戦争の賠償金（ばいしょうきん）減免・**兵庫開港未（み）勅許の代償**として，**輸入税を5%に引き下げ**，従価税方式から従量税方式へと関税を転換（高価格品の輸入が増加）。

☆**輸入が激増**，輸出超過時代から**輸入超過時代へ（1867年～）**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②討幕〔倒幕〕運動の展開

A　**薩摩藩**

西郷隆盛・大久保利通らを中心に攘夷思想を放棄。**イギリスの支援**を背景に，藩論を公武合体から**武力討幕**に転換。**朝廷の公卿岩倉具視らと結ぶ。**

B　**長州藩**

1865年，**高杉晋作**が下関で挙兵し保守派から主導権を奪回。**桂小五郎〔木戸孝允〕・伊藤博文・井上馨・山県有朋**らが再び台頭，攘夷思想を放棄し藩論を**武力討幕**に統一。

C　**薩長同盟〔連合〕**（1866年，京都薩摩藩邸において）

土佐藩出身の坂本龍馬・中岡慎太郎の斡旋で，小松帯刀・**西郷隆盛（薩摩藩）**と**木戸孝允（長州藩）**が**密約**を締結。相互の援助を誓い**武力討幕派の主力を形成**した。

☆薩摩藩は，来るべき第二次長州征討に備え，長州藩の長崎での洋式武器購入（イギリス商人グラバーから）を援助。

D　**第二次長州征討〔第二次幕長戦争〕（1866年）**

薩長同盟の密約により薩摩藩は不参加。新式武装の長州藩が幕府軍を撃破。

☆流通の停滞により米価が高騰し，江戸・大坂で打ちこわしが多発。

☆**14代家茂が大坂城で急死，幕府軍不利のまま征討中止。**

---

③民衆の動き

A　**世直し一揆**・打ちこわしの激増

幕府・公議政体派（土佐藩・越前藩）・武力討幕派（薩摩藩・長州藩）各陣営に，支配体制の再編を急がせる。

☆1866年の一揆発生件数は，江戸時代を通じ最多となる。

B　社会不安の増大

あ　**黒住教・天理教・金光教**など新宗教の隆盛⇒明治期に**教派神道**となる

い　伊勢神宮への**御蔭参り**の大流行

う　**“ええじゃないか”**の乱舞（**1867年７月～**）

お札降りなどを契機に三河国で発生。以後，東海・畿内・中国・四国などに拡大。翌年春まで続き，**討幕運動に多大な影響を与えた。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④江戸幕府の滅亡

A　**徳川慶喜，京都で15代将軍に就任（1866年）**

☆フランス公使ロッシュの意見により，洋風の職制・軍制を整備（＝慶応の改革）。

B　**孝明天皇の急死　（1866年）**

☆過激な討幕を好まず公議政体論者である天皇の急死は，幕府に大打撃を与えた。

C　明治天皇即位　（1867年）

D　**“ええじゃないか”発生　（1867年７月～）**

E　**大政奉還（たいせいほうかん）の上表　（1867年10月14日）**

あ　**前土佐藩主山内豊信（とよしげ）〔容堂〕が15代将軍慶喜に建白。**

☆坂本龍馬の“船中八策（せんちゅうはっさく）”を手本に**後藤象二郎（しょうじろう）**が藩論を統一。

い　**京都二条城において，慶喜が明治天皇に政権を奉還。**

☆慶喜のねらいは，支配体制の再構築にあったとみられる。

F　**討幕の密勅　（1867年10月14日）**

岩倉具視（公卿（くぎょう））らが薩長の武力討幕派と結び画策（かくさく）したが，大政奉還が許可されたため空振（からぶ）りに終わる。

G　坂本龍馬・中岡慎太郎暗殺事件　（1867年11月）

武力討幕派もしくは幕府見廻組（みまわりぐみ）の仕業（しわざ）とされるが不明。

H　**王政復古の大号令　（1867年12月９日）⇒武力討幕派の画策**

あ　**天皇中心の維新政府を樹立，幕府・摂政・関白を廃止。**

い　**三職（さんしょく）**（**総裁（そうさい）**１名・**議定（ぎじょう）**10名・**参与（さんよ）**20名）を設置

☆総裁には**有栖川宮熾仁親王（ありすがわのみやたるひとしんのう）**が就任。

I　**小御所（こごしょ）会議〔三職会議〕　（1867年12月９日）⇒武力討幕派の画策**

徳川慶喜の辞官納地（じかんのうち）（内大臣の辞退・領地の一部返上）を決定したが，公議政体派の山内豊信〔容堂〕（前土佐藩主）・松平慶永（前越前藩主）らは反対。

☆**旧幕府方はこれに憤激**，徳川慶喜は二条城から大坂城へ引き上げ，翌年**鳥羽（とば）・伏見（ふしみ）の戦い**となる。⇒**戊辰（ぼしん）戦争**の開始

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 33 講　確認テスト

1　13代将軍家定の正室篤姫〔天璋院〕の養父でもある薩摩藩主とは？

①　島津家久　②　島津重豪　③　島津斉彬　④　島津久光

2　将軍継嗣問題で紀伊藩主徳川慶福を推挙した，彦根藩主井伊直弼を中心とする譜代・旗本らを何というか？

①　南紀派　②　一橋派　③　雄藩連合　④　公議政体派

3　1858年，孝明天皇に条約勅許を求めたが挫折した老中首座とは？

①　阿部正弘　②　堀田正睦　③　安藤信正　④　久世広周

4　1858年～59年の安政の大獄で処刑された，適塾出身の越前藩士とは？

①　大村益次郎〔村田蔵六〕　②　橋本左内

③　福沢諭吉　④　佐野常民

5　尊王攘夷派の水戸浪士らが，桜田門外の変で大老井伊直弼を殺害した年は？

①　1860年　②　1862年　③　1863年　④　1864年

6　1862年，島津久光が主導した文久の改革で，京都守護職に就任した会津藩主とは？

①　保科正之　②　一橋慶喜　③　松平慶永　④　松平容保

7　1862年，京都で発生した薩摩藩尊攘派粛清事件とは？

①　東禅寺事件　②　寺田屋事件

③　生麦事件　④　池田屋事件

8　1862年，薩摩藩によるイギリス人殺傷事件が発生した場所とは？

①　品川の御殿山　②　横浜の生麦

③　江戸の坂下門外　④　京都の鳥羽・伏見

9　1863年，尊攘派公卿のリーダーとして，“七卿落ち”を経験した人物とは？

①　三条実美　②　沢宣嘉　③　中川宮　④　岩倉具視

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

10　1863年，尊攘派公卿中山忠光や土佐浪士吉村寅太郎らが大和国五條の代官所を襲撃した事件とは？

①　八月十八日の政変　　②　天誅組の変

③　生野の変　　④　天狗党の乱

11　1864年，下関戦争〔四国艦隊下関砲撃事件〕を主導したイギリス公使オールコックの著書とは？

①『日本遠征記』　②『日本滞在記』

③『大君の都』　④『英国策論』

12　下関で挙兵し保守派から主導権を奪還，藩論を武力討幕に統一した長州藩士とは？

①　高杉晋作　　②　木戸孝允〔桂小五郎〕

③　久坂玄瑞　　④　井上馨

13　京都において薩長同盟の密約が結ばれた年は？

①　1863年　②　1864年　③　1866年　④　1867年

14　1867年10月14日，15代将軍慶喜が大政奉還した場所とは？

①　江戸城　②　大坂城　③　二条城　④　京都御所

15　1867年12月9日，王政復古の大号令により設置された三職として不適切なものを一つ選べ。

①　総裁　②　議定　③　参与　④　参議

解答

1	③	2	①	3	②	4	②	5	①
6	④	7	②	8	②	9	①	10	②
11	③	12	①	13	③	14	③	15	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。